役割分担表修正の説明

（１）修正の観点

①今年度、各地区に依頼した内容と、東京事務局が担った内容に即して変更したい
総会で承認されている分担割り当ての中で、一部、現状に即していない内容がある

②東京事務局と各地区の協働とせず、東京事務局単体で運営した方が効率的な事項は
そのように変更したい

③分担表が極めて読み取りにくいので、修正したい

④各地区に新たな役割をお願いする修正は行わない

（２）具体的な修正：変更箇所は赤文字と色セルで示した

ア　青セルの箇所が全国各地区の輪番の役割

・全肢長総会議長

・総会時の研究協議会（１）（２）は、「提案・進行」を新ため「講師紹介」に変更
＊今年度そのように分担した

・全肢研の校長研究協議会
全肢研担当地区から、話題提供を２校選出、該当地区代表と東京事務局が打合せの上７月に依頼する
＊今年度そのように分担した

イ　緑色・黄色セル

・全肢長総会での「開会と閉会のことば」　全肢Ｐ連主幹校（今年度と同じ）
です。現状、各地区に役割を当ててあっても、東京事務局で進めている部分もあウ

ウ　赤文字　修正箇所

・代表者研究協議会は、議長を立てない

・運営・司会は、東京事務局が担う

＜理由＞

＊全特長の「理事評議員合同会議」は議長を立てていない

＊5 月 第一回
年度初めは東京事務局の運営体制が変わり、業務整理・切り出しが難しい
今年度は業務を切り出せなかったので、九州・沖縄地区に運営協力依頼せず

＊11 月 第二回
全肢研の初日の開催となる、主幹校(主幹地区)・東京・各地区の連携運営のｐが非効率

＊1 月 第三回
全肢研後、すぐの準備開始でなければ間に合わない。
2 月開催にしても、同様